

平成 29 年度 事業 計画 書

公益財団法人 医学教育振興財団

平成 29 年度においては、事業の一層の充実発展を期し、以下の計画を推進する。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1) 第 37 回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内の医科大学 1 校を選び、医学教育のシステム、カリキュラム等について実地に視察研究し、今後の医学教育の改善に資する。

期 日：9 月 7 日（木）・8 日（金）／開催校：山梨大学医学部

2. 医学教育に関する研究の助成

(1) 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒直後教育の調査・研究に対する助成

(2) 医学教育賞（懸田賞）

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第 29 回「医学教育指導者フォーラム」の開催

国公立医科大学（医学部）における医学教育の改善並びに教育研究組織の円滑な管理運営に資するため、医学教育について責任ある立場の者を対象に開催する。

期 日：7 月 25 日（火）／会 場：東京慈恵会医科大学 1 号館講堂

テーマ：「基礎医学教育のあり方と基礎研究医養成の課題」

講 師：

Professor Peter McCrorie (Dean of Medical Education, the University of Nicosia Medical School

/Emeritus Professor of Medical Education, St George's, University of London, UK)

Professor Stuart Carney (Deputy Executive Dean and Medical Dean, Faculty of Medicine,

The University of Queensland, Australia)

(2) 英国大学医学部における臨床実習のための短期留学

① 医学生の派遣

派遣予定校 7 校（ニューキャッスル・セントジョージ・プリマス・オックスフォード・グラスゴー・リーズ・ダンディー）

(3) 川崎学園・グリーンテンプレトンカレッジ（JMFE）フェローシップ

医学研究者を英国オックスフォード大学グリーンテンプレトンカレッジに医学研究等のために留学させる。

(4) 基礎研究医養成支援事業

各大学が実施している基礎研究医養成プログラムに在籍する学生に奨学金を支給する。

4. 医学教育資料等の刊行

『J.M.E.F.』の刊行、「国内医科大学視察と討論の会」、「英国短期留学」報告書の作成

5. その他目的を達成するための事業

内外の関連機関・団体との提携、協力及び交流を行なうほか、医学教育機関から委託された事業を行う。

平成29年度 事業報告書

(平成29年4月から平成30年3月まで)

公益財団法人 医学教育振興財団

平成 29 年度において、事業の一層の充実を図りつつ、次のとおり事業を実施した。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1) 第 37 回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内医学教育事情調査の一環として、山梨大学医学部の協力のもとに「山梨大学医学部における教育」を討論の主題として、大学からの説明、討論、及び学生との懇談を行い、学内施設の視察を行った。全国の国公私立大学医学部等関係者 91 名が参加した。

- ① 期日：平成 29 年 9 月 7 日（木）・8 日（金）
- ② 場所：山梨大学医学部
- ③ 討論の主題：
 - ア 反転授業用ビデオ教材作成ソフト、Media DEPO を利用した臨床実習
 - イ 地域医療における臨床教育について
 - ウ ライフサイエンス特進コース（研究医養成コース）について
 - エ 山梨大学医学部における国際交流・国際教育について
- ④ プログラム：
 - 9 月 7 日（木）
 - ・開会挨拶 小川 秀興（医学教育振興財団理事長）
島田 眞路（山梨大学長）
中尾 篤人（山梨大学医学部長）
 - ・特別講演Ⅰ「医学教育の現状と課題」
講演者）眞鍋 馨（文部科学省高等教育局医学教育課企画官）
 - ・医学科カリキュラム概要説明 秋山 真治（山梨大学大学院総合研究部教授）
 - ・講演（1）「反転授業用ビデオ教材作成ソフト、Media DEPO を利用した臨床実習」
講演者）飯島 裕幸（山梨大学大学院総合研究部教授）
 - ・講演（2）「地域医療における臨床教育について」
講演者）佐藤 弥（山梨大学大学院総合研究部教授）
 - ・講演（3）「ライフサイエンス特進コース（研究医養成コース）について」
講演者）中尾 篤人（山梨大学医学部長）
 - ・講演（4）「山梨大学医学部における国際交流・国際教育について」
講演者）武田 正之（山梨大学理事（医療担当））
 - ・学生との懇談
 - ・懇親会（ベルクラシック甲府）
 - 9 月 8 日（金）
 - ・特別講演Ⅱ「大学の授業改善と資質・能力の育成－OPPA 論を中心にして－」
講演者）堀 哲夫（山梨大学理事（教学・国際交流担当））
 - ・総合討論 司 会）鈴木 康之（日本医学教育学会理事長）
 - ・閉会挨拶 小川 秀興（医学教育振興財団理事長）
堀 哲夫（山梨大学理事（教学・国際交流担当））

- ・施設見学 ①チュートリアル室、生物実験室 ②シミュレーター室 ③へリポート、救急外来、手術室

2. 医学教育に関する研究の助成

(1) 平成 29 年度「医学教育研究助成」

① 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒後医学教育の調査・研究に対する助成事業である。本財団の審査委員会において審査を行い、申請 15 件のうち 5 件を決定した。

- ・小林 欣夫（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学教授）
「拡張現実聴診教育システムによる教育効果の研究」
340,000 円
- ・大西 丈二（名古屋大学医学部附属病院老年内科講師）
「退院支援ツールと地域連携教育の現状および病院応需状況調査と、それらを用いた医学教育コンテンツ作成に関する研究」
330,000 円
- ・加治 建（鹿児島大学学術研究院医歯学域医学系小児外科学分野准教授）
「安全な中心静脈カテーテル挿入手技の標準化に向けた卒前・卒後教育におけるトレーニング方法の開発」
330,000 円
- ・松山 泰（自治医科大学医学教育センター講師）
「「日本発」自己調整学習力の確立支援プログラムの開発」
330,000 円
- ・駒澤 伸康（大阪医科大学附属病院麻酔科助教／医療技能シミュレーション室副室長）
「医学生の院内急変対応訓練のためのシミュレーション教育法の開発」
340,000 円

②「医学教育研究助成（平成 28 年度）報告会」の開催

平成 29 年 12 月 21 日（木）第一ホテル東京において、本財団役員等を対象に、平成 28 年度の医学教育研究助成の研究成果報告会を行った。

- ・報告 1 「医学生の医療安全についての能力発達の把握と効果的・体系的カリキュラムの検討ー臨床実習および医療安全セミナー「WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版」の有効性についてー」
報告者) 伊藤 彰一（千葉大学大学院医学研究院医学教育研究室講師）
- ・報告 2 「医療安全水準向上を目指した卒前・卒後教育における至適内視鏡外科手術トレーニング方法の開発」
報告者) 加治 建（鹿児島大学病院総合臨床研修センター教授）
- ・報告 3 「アカデミックキャリア男女間格差解消を目指した新たな継続型ジェンダー教育プログラムの構築」
報告者) 須崎 康恵（奈良県立医科大学女性研究者支援センター講師）
- ・報告 4 「LMS を用いた講義予習テストおよび復習テストの有用性についての検討」
報告者) 秋山 暢（帝京大学医学部内科学病院教授）

- ・報告5「海外臨床実習制度がグローバルな医療者育成へ貢献しているかの分析研究」
報告者) 芦田 ルリ (東京慈恵会医科大学国際交流センター教授)

司 会) 伊野 美幸 (聖マリアンナ医科大学教授)

(2) 平成 29 年度「医学教育賞 (懸田賞)」

若手の研究者を対象として、医学教育の奨励に貢献のあった者に与える医学教育賞 (懸田賞) の第 24 号を授与した。なお、選考は日本医学教育学会に依頼した。

第 24 号受賞者: 武富貴久子 (北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センター
学術研究員)

論文: Comparison of students' encountered diseases and available diseases at clerkship sites by exploratory multivariate analysis: Are encountered diseases predictable?
(Medical Teacher 2016; 38:395-403)

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第 29 回「医学教育指導者フォーラム」の開催

平成 29 年 7 月 25 日 (火) 東京慈恵会医科大学において、医学教育に責任のある方々を対象に、全国の国公私立大学医学部等関係者 144 名が参加して医学教育指導者フォーラムを開催した。

① 主題「基礎医学教育のあり方と基礎研究医養成の課題 - Basic Science Education in Undergraduate and Nurturing Basic Scientists in Undergraduate and Postgraduate -」

② プログラム

- ・開会挨拶 跡見 裕 (医学教育振興財団常務理事)
森 孝之 (文部科学省高等教育局医学教育課長)

- ・趣旨説明 福島 統 (東京慈恵会医科大学教授/教育センター長)

- ・講演 1 “Teaching the Basic Sciences to Medical Students: the importance of horizontal and vertical integration”

講演者) Peter McCrorie

(Dean of Medical Education, The University of Nicosia Medical School,
Cyprus / Emeritus Professor of Medical Education, St George's,
University of London, UK)

司 会) 堀尾 嘉幸 (札幌医科大学医学部長)

- ・講演 2 “Nurturing Clinical Academics - Reflections on the first 10 years of the UK Integrated Academic Training Pathway”

講演者) Stuart Carney

(Deputy Executive Dean and Medical Dean, Faculty of Medicine,
The University of Queensland, Australia)

司 会) 松藤 千弥 (東京慈恵会医科大学学長)

- ・総合討論 司 会) 泉 美貴 (東京医科大学教授)

話題提供「基礎医学教育のあり方と基礎研究医養成の課題」

講演者) 江石 義信 (東京医科歯科大学人体病理学分野教授)

話題提供「医学教育で培う基礎医学研究者」

講演者) 大塚 愛二 (岡山大学医学部長)

話題提供「順天堂大学における基礎研究医養成」

講演者) 代田 浩之 (順天堂大学医学部長)

パネリスト) Peter McCrorie / Stuart Carney / 江石義信 / 大塚愛二 / 代田浩之

- ・ 閉会挨拶 福島 統 (医学教育振興財団常務理事)
- ・ レセプション

(2) 第 29 回「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」の実施

本制度は日本における卒前臨床教育の充実向上を図るため、本財団の推薦した日本の医学生が英国の大学医学部において、4週間の臨床実習を体験する制度で、29回目を実施した。

全国の国公私立大学医学部医学科からの応募学生 52 名について、本財団の選考委員会において選考し、次のとおり 15 名を派遣した。また、昨年度まで派遣していたプリマス大学ペンシユラ医学部は受け入れ校の事情により、ダンディー大学は実施見直しのため、休止となった。

① 留学期間：

- ・ 平成 30 年 3 月 5 日(月)～3 月 29 日(木)
- ・ 平成 30 年 6 月 4 日(月)～6 月 29 日(金) リーズ大学

② 留学生：

- ・ ニューキャッスル大学医学部
吉永 智音 (千葉大学) 鈴木祐一郎 (横浜市立大学)
石川 滉 (岩手医科大学) 稲崎 稔明 (日本大学)
- ・ ロンドン大学セントジョージ校医学部
高橋あずさ (順天堂大学) 四蔵 梨奈 (東京医科大学)
- ・ オックスフォード大学医学部
Fujimoto Avelino Hiroshi (群馬大学) 山下 博美 (浜松医科大学)
- ・ グラスゴー大学医学部
橋本 晴子 (富山大学) 増田 理沙 (広島大学)
小林 弘典 (奈良県立医科大学) 井神 健太 (順天堂大学)
- ・ リーズ大学医学部
神田 珠莉 (千葉大学) 鈴木裕紀子 (富山大学)
光廣 直貴 (鹿児島大学)

③ 財団関係者の英国医学部への訪問：

平成 29 年 10 月 22 日 (日) から 29 日 (日) の間、財団関係者 3 名が英国大学医学部 (ロンドン大学セントジョージ校医学部、オックスフォード大学医学部、グラスゴー大学医学部、リーズ大学医学部、ダンディー大学医学部) を訪問し、今後の短期留学推進等について協議を行った。

(3) 基礎研究医養成支援事業

各大学が実施している基礎研究医養成プログラムに在籍する学生に奨学金 (年額 120 万円)

を支給する事業である。平成 29 年度は本財団の審査委員会において審査を行い、申請 9 件のうち 9 件を決定した。

齊藤 和弘 (筑波大学)	久米 秀明 (東京大学)
井上 拓也 (滋賀医科大学)	大植 薫 (京都大学)
安水 良明 (大阪大学)	横山 諒一 (神戸大学)
岸 美裕子 (埼玉医科大学)	大舟 晃平 (関西医科大学)
江川 可純 (兵庫医科大学)	

4. 医学教育資料等の刊行

平成 29 年度においては、『J.M.E.F.』第 32 号・第 33 号・第 34 号・第 35 号・第 36 号・第 37 号を編集刊行した。また、第 37 回「国内医科大学視察と討論の会」(開催：山梨大学医学部) 報告書、平成 28 年度「英国大学医学部での臨床実習のための短期留学」報告書及び第 29 回「医学教育指導者フォーラム」記録集を作成した。

5. その他

(1) 平成 29 年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力

「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」(文部科学省主催、公益財団法人医学教育振興財団・一般社団法人全国医学部長病院長会議等協力) が、平成 29 年 7 月 26 日 (水) に東京慈恵会医科大学において開催され、これに協力した。

6. 会員

全医科大学・医学部 80 校 (国立 43 校・公立 8 校・私立 29 校) が一般会員として事業の実施に参画している。

平成 29 年度に賛助会員として財団の事業にご協力いただいた企業は、次の 12 社である。

アステラス製薬株式会社	アルフレッサ株式会社
学園パーキング株式会社	協和発酵キリン株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	塩野義製薬株式会社
株式会社スズケン	武田薬品工業株式会社
第一三共株式会社	中外製薬株式会社
東邦薬品株式会社	株式会社メディセオ

7. 寄附金等の募集

本財団が実施する各種事業の一層の拡充を図るため、下記事業にあてることを目的として寄附金等の助成を受けた。

- ・「平成 29 年度医学教育振興財団事業」に対する寄附として
株式会社医学書院 50,000 円
- ・「第 29 回医学教育指導者フォーラム」外国人講師招聘旅費として
公益財団法人持田記念医学薬学振興財団 500,000 円
- ・「基礎研究医養成支援事業」に対する寄附として
グラクソ・スミスクライン株式会社 10,000,000 円

8. 平成 29 年度 医学教育振興財団 会議録

月 日	会 議 等	議 事
平成 29 年 5 月 17 日 (水)	第 11 回理事会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 平成 28 年度事業報告について (2) 平成 28 年度収支決算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について (4) 事業報告等に係る提出書について (5) 国際交流基金の取り崩しについて (6) 財団会員規程の検討について 報告 (1) 職務の執行状況について
6 月 8 日 (木)	第 9 回評議員会 (ホテル東京ガーデンパレス「橘」)	議案 (1) 平成 28 年度事業報告について (2) 平成 28 年度収支決算について 報告 (1) 事業報告等に係る提出書について (2) 国際交流基金の取り崩しについて (3) 財団会員規程の検討について
7 月 25 日 (火)	第 29 回医学教育指導者フォーラム (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
7 月 26 日 (水)	平成 29 年度医学・歯学教育指導者のためのワークショップ (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
8 月 22 日 (火)	英国短期留学選考委員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 書類選考合格者の決定について
9 月 7 日 (木) ～ 8 日 (金)	第 37 回国内医科大学視察と討論の会 (山梨大学医学部)	詳細は「事業報告書」に記載
9 月 16 日 (土)	英国短期留学選考委員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 面接試験合格者の決定について (2) 留学先の決定について
9 月 28 日 (木)	運営委員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 平成 30 年度事業計画 (案) について 報告 (1) 英国短期留学選考結果について (2) 川崎学園・グリーンテンプレートンカレッジ (JMEF) フェローシップ募集について

11月22日(水)	審査委員会(書面審議)	議案 平成29年度基礎研究医養成奨学金の決定について
12月21日(木)	運営委員会 (第一ホテル東京)	議案 平成30年度事業計画(案)について 報告 (1)平成29年事業報告(概要)について
12月21日(木)	医学教育研究助成(平成28年度) 報告会(第一ホテル東京)	詳細は「事業報告書」に記載
平成30年 2月8日(木)	審査委員会 (医学教育振興財団事務局)	議案 平成30年度医学教育研究助成の審査について
3月1日(木)	第12回理事会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1)平成30年度事業計画について (2)平成30年度収支予算について (3)評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 報告 (1)職務の執行状況について
3月30日(金)	第10回評議員会 (共用試験実施評価機構会議室)	報告 (1)平成30年度事業計画について (2)平成30年度収支予算について

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。

収支予算書（損益計算ベース）

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益財団法人医学教育振興財団

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計	28年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,927,400	1,254,600	4,182,000	4,182,000	0
② 特定資産運用益	1,642,000	0	1,642,000	1,642,000	0
③ 受取会費	22,785,000	9,765,000	32,550,000	33,400,000	△ 850,000
④ 事業収益	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
⑤ 受取寄付金	20,800,000	0	20,800,000	20,800,000	0
⑥ 雑収益	10,000	0	10,000	10,000	0
経常収益計	49,164,400	11,019,600	60,184,000	61,034,000	△ 850,000
(2) 経常費用					
① 事業費	58,465,000		58,465,000	58,515,000	△ 50,000
奨学金事業費	20,000,000		20,000,000	20,000,000	0
給料手当	15,050,000		15,050,000	16,100,000	△ 1,050,000
退職給付費用	500,000		500,000	500,000	0
法定福利費	2,415,000		2,415,000	2,415,000	0
会議費	600,000		600,000	600,000	0
旅費交通費	1,300,000		1,300,000	1,300,000	0
通信運搬費	300,000		300,000	300,000	0
減価償却費	0		0	0	0
消耗品費	100,000		100,000	100,000	0
賃借料	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
調査研究費	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
広報普及費	1,000,000		1,000,000	600,000	400,000
学術会議費	9,100,000		9,100,000	8,500,000	600,000
研究助成費	2,000,000		2,000,000	2,000,000	0
雑役務費	100,000		100,000	100,000	0
② 管理費		11,155,000	11,155,000	11,605,000	△ 450,000
役員報酬		60,000	60,000	60,000	0
給料手当		6,450,000	6,450,000	6,900,000	△ 450,000
退職給付費用		200,000	200,000	200,000	0
法定福利費		1,035,000	1,035,000	1,035,000	0
福利厚生費		110,000	110,000	110,000	0
会議費		50,000	50,000	50,000	0
旅費交通費		500,000	500,000	500,000	0
通信運搬費		100,000	100,000	100,000	0
減価償却費		0	0	0	0
消耗品費		400,000	400,000	400,000	0
光熱水料費		350,000	350,000	350,000	0
賃借料		1,200,000	1,200,000	1,200,000	0
諸謝金		100,000	100,000	100,000	0
交際費		100,000	100,000	100,000	0
雑役務費		500,000	500,000	500,000	0
経常費用計	58,465,000	11,155,000	69,620,000	70,120,000	△ 500,000
当期経常増減額	△ 9,300,600	△ 135,400	△ 9,436,000	△ 9,086,000	△ 350,000
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,300,600	△ 135,400	△ 9,436,000	△ 9,086,000	△ 350,000
一般正味財産期首残高	420,466,278	95,366,959	515,833,237	524,919,237	△ 9,086,000
一般正味財産期末残高	411,165,678	95,231,559	506,397,237	515,833,237	△ 9,436,000
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	411,165,678	95,231,559	506,397,237	515,833,237	△ 9,436,000

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	77,587	29,565	48,022
預金	2,603,381	5,174,956	△2,571,575
流動資産合計	2,680,968	5,204,521	△2,523,553
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	299,703,000	299,604,000	99,000
基本財産合計	299,703,000	299,604,000	99,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,579,702	2,884,853	694,849
国際交流事業基金			
投資有価証券	210,000,000	210,000,000	0
預金	15,879,511	18,306,085	△2,426,574
特定資産合計	229,459,213	231,190,938	△1,731,725
(3) その他固定資産			
什器備品	8	8	0
電話加入権	233,400	233,400	0
その他固定資産合計	233,408	233,408	0
固定資産合計	529,395,621	531,028,346	△1,632,725
資産合計	532,076,589	536,232,867	△4,156,278
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	15,447	146,583	△131,136
預り金	507,501	444,703	62,798
流動負債合計	522,948	591,286	△68,338
2 固定負債			
退職給付引当金	3,579,702	2,884,853	694,849
固定負債合計	3,579,702	2,884,853	694,849
負債合計	4,102,650	3,476,139	626,511
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	527,973,939	532,756,728	△4,782,789
(うち基本財産への充当額)	(299,703,000)	(299,604,000)	(99,000)
(うち特定資産への充当額)	(229,459,213)	(231,190,938)	(4,374,161)
正味財産合計	527,973,939	532,756,728	△4,782,789
負債及び正味財産	532,076,589	536,232,867	△4,156,278

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	4,267,793	4,179,418	88,375
② 特定資産運用益	1,745,662	1,888,964	△ 143,302
③ 受取会費	31,600,000	33,400,000	△ 1,800,000
④ 事業収益	1,040,136	935,000	105,136
⑤ 受取寄付金	10,550,000	10,750,000	△ 200,000
⑥ 雑収益	286,203	464	285,739
経常収益計	49,489,794	51,153,846	△ 1,664,052
(2) 経常費用			
① 事業費	44,550,022	46,494,303	△ 1,944,281
奨学金事業費	10,808,008	9,607,666	1,200,342
給料手当	13,596,763	16,385,339	△ 2,788,576
退職給付費用	486,394	310,237	176,157
法定福利費	2,091,131	1,915,685	175,446
会議費	468,536	454,276	14,260
旅費交通費	401,880	383,072	18,808
通信運搬費	551,528	376,093	175,435
減価償却費	0	0	0
消耗品費	44,280	434,409	△ 390,129
賃借料	2,683,708	2,842,968	△ 159,260
調査研究費	2,078,502	2,037,466	41,036
広報普及費	864,402	363,139	501,263
学会会議費	8,488,894	9,488,105	△ 999,211
研究助成費	1,820,000	1,717,432	102,568
雑役務費	165,996	178,416	△ 12,420
② 管理費	9,722,561	11,374,847	△ 1,652,286
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	5,827,182	7,022,286	△ 1,195,104
退職給付費用	208,455	132,958	75,497
法定福利費	896,200	821,007	75,193
福利厚生費	118,634	86,650	31,984
会議費	28,178	91,347	△ 63,169
旅費交通費	246,500	466,060	△ 219,560
通信運搬費	46,102	74,649	△ 28,547
減価償却費	0	0	0
消耗品費	453,429	529,309	△ 75,880
光熱水料費	313,521	344,532	△ 31,011
賃借料	1,065,576	1,065,576	0
諸謝金	97,200	97,200	0
交際費	0	5,400	△ 5,400
雑役務費	361,584	577,873	△ 216,289
経常費用計	54,272,583	57,869,150	△ 3,596,567
当期経常増減額	△ 4,782,789	△ 6,715,304	1,932,515

科 目	当年度	前年度	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	2	△ 2
当期経常外増減額	0	△ 2	2
当期一般正味財産増減額	△ 4,782,789	△ 6,715,306	1,932,517
一般正味財産期首残高	532,756,728	539,472,034	△ 6,715,306
一般正味財産期末残高	527,973,939	532,756,728	△ 4,782,789
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	527,973,939	532,756,728	△ 4,782,789

正味財産計算書内訳表
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,987,455	1,280,338		4,267,793
② 特定資産運用益	1,745,662	0		1,745,662
③ 受取会費	22,120,000	9,480,000		31,600,000
④ 事業収益	1,040,136	0		1,040,136
⑤ 受取寄付金	10,550,000	0		10,550,000
⑥ 雑収益	286,203	0		286,203
経常収益計	38,729,456	10,760,338	0	49,489,794
(2) 経常費用				
① 事業費	44,550,022		0	44,550,022
奨学金事業費	10,808,008			10,808,008
給料手当	13,596,763			13,596,763
退職給付費用	486,394			486,394
法定福利費	2,091,131			2,091,131
会議費	468,536			468,536
旅費交通費	401,880			401,880
通信運搬費	551,528			551,528
減価償却費	0			0
消耗品費	44,280			44,280
賃借料	2,683,708			2,683,708
調査研究費	2,078,502			2,078,502
広報普及費	864,402			864,402
学術会議費	8,488,894			8,488,894
研究助成費	1,820,000			1,820,000
雑役務費	165,996			165,996
② 管理費		9,722,561	0	9,722,561
役員報酬		60,000		60,000
給料手当		5,827,182		5,827,182
退職給付費用		208,455		208,455
法定福利費		896,200		896,200
福利厚生費		118,634		118,634
会議費		28,178		28,178
旅費交通費		246,500		246,500
通信運搬費		46,102		46,102
減価償却費		0		0
消耗品費		453,429		453,429
光熱水料費		313,521		313,521
賃借料		1,065,576		1,065,576
諸謝金		97,200		97,200
交際費		0		0
雑役務費		361,584		361,584
経常費用計	44,550,022	9,722,561	0	54,272,583
当期経常増減額	△ 5,820,566	1,037,777	0	△ 4,782,789
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,820,566	1,037,777	0	△ 4,782,789
一般正味財産期首残高	434,274,464	98,482,264		532,756,728
一般正味財産期末残高	428,453,898	99,520,041		527,973,939
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	428,453,898	99,520,041		527,973,939

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	299,604,000	99,000	0	299,703,000
	基本財産計	299,604,000	99,000	0	299,703,000
特定資産	退職給付引当資産	2,884,853	694,849	0	3,579,702
	国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	0	0	210,000,000
	国際交流事業基金(普通預金)	18,306,085	0	2,426,574	15,879,511
	特定資産計	231,190,938	694,849	2,426,574	229,459,213

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,884,853	694,849	0	0	3,579,702

財 産 目 録
平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 預金	現金	手元保管	運転資金として	77,587
	預金	<普通預金> みずほ銀行町村会館出張所 りそな銀行本郷支店	運転資金として	2,285,971
		<通常貯金> ゆうちょ銀行	運転資金として	317,410
流動資産合計				2,680,968
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第51回ソフトバンク社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。(共用財産)	299,703,000
特定資産	退職給付引当資産	<普通預金> 三菱東京UFJ銀行赤坂支店	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	3,579,702
	国際交流事業基金	<投資有価証券> 第13回大和証券グループ社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	210,000,000
		<普通預金> 三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	15,879,511
その他の 固定資産	什器備品	財団内：金庫、書架他	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%管理目的として30%使用している。(共用財産)	8
	電話加入権	財団内：03-3815-3895他2本	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%管理目的として30%使用している。(共用財産)	233,400
固定資産合計				529,395,621
資産合計				532,076,589
(流動負債)				
未払金 預り金	未払金	職員	職員2名の3月分の超過勤務手当として	15,447
	預り金	職員	職員3名の源泉所得税、社会保険料、住民税の預かり分	507,501
流動負債合計				522,948
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員3名に対する退職金の支払いに備えたもの	3,579,702
固定負債合計				3,579,702
負債合計				4,102,650
正味財産				527,973,939